

小学校 2年

「スイミー」－想像を広げながら読もう－

摂津市立三宅柳田小学校

教科

国語

単元名

スイミーにヒーローインタビューをしよう

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにする力

・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・同じ作者の図書を並行読書し、その物語の登場人物の行動を具体的に想像する力

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

①－STEP 1 D

②－STEP 1 F

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

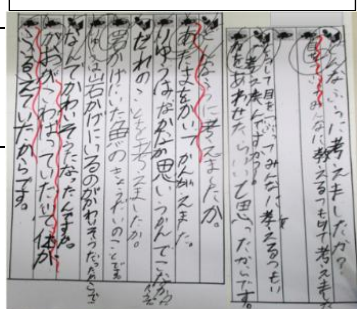
ステップシート」から確認できます。



単元における学習の展開 (9 時間ぐらい) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 時～ 第 2 時	○単元の見通しをもつ。 ・言語活動「ヒーローインタビュー」、単元のゴールを知る。 ・「行動を具体的に想像する(つきたい力)」とは何かを知る。 ・「表情」「口調」「様子」について考える。 ・学年の棚に置いてある、作者「レオ＝レオニ」の本を見る。(☆) ・「スイミー」の物語を聴く。
第 3 時～ 第 7 時	○登場人物のしたことを見つけ、問いを立てて、解決する。【本時：第 7 時】 (「スイミー」以外の作者「レオ＝レオニ」の本を読み、登場人物の行動を具体的に想像するための視点を確認する。) ・中心人物「スイミー」の行動を見つける。 ・行動を詳しく知るために「どんな様子で」「どんな風に」と問いを立て解決する。 ・なぜ、そんな行動をしたのか問いを立て、物語を深く読む。
第 8 時～ 第 9 時	○スイミーに「ヒーローインタビュー」をする。 ・自分が好きな場面を選び、そこについて、グループで「インタビュー」し合う。 ・「スイミー」以外の作者「レオ＝レオニ」の本を読み、行動を具体的に想像してみる。(☆) ・作品や単元について振り返り、身に付いた力について、まとめる。

インタビューのワークシート



本時のねらい

・スイミーの行動に線を引き、言葉集と結び付け、スイミーがしたことを具体的に想像することができる。

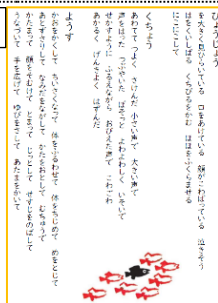
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント)
導入 (10 分)	1. 単元の学習課題を確認する。 この単元は、登場人物がしたことを具体的に想像する学習をします。 そのために、登場人物の行動に線を引き、言葉集と結び付け、 「スイミーにヒーローインタビュー」をしよう。 2. 他のレオ＝レオニの作品で、中心人物の行動を具体的に想像してみる。 3. 「スイミー」の音読を行う。	●指導上の留意点等 ★同じ作者の作品を読み、表現の特徴に気付く力を育てる。 ●中心人物の行動について具体的に想像することで、作品世界を広げられるようにする。
展開 (30 分)	4. 場面の中で、スイミーの行動を探す。 5. スイミーの行動に対して、問いを立て、詳しく想像する。 ・3人グループで、スイミーの行動に対して、「表情」「口調」「様子」の言葉と結び付けながら、具体的に想像を膨らませる。	●スイミーの「表情」「口調」「様子」について、言葉を集めた「言葉集」を使うことで、語彙の習得と活用を促す。
まとめ (5 分)	6. 学習の振り返りを行う。	★同じ作者の作品を引き続き、学年の棚に置いておく。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・学習指導要領の指導事項(読むことCⅡ 精査・解釈)を目標とした授業を計画した。
『行動を具体的に想像する』とは、「登場人物がどんな表情(顔の動き)で行動したのか。」「どんな口調(口の動き)で言ったのか。」「どんな様子(体の動き)で、行動したのか。」を想像することである。授業者は、これらの視点を明確にして児童と学習を進めた。
- ・言語活動を行う中で、「スイミー」の教材で使える言葉を教師が集めて、「言葉集」として児童に提示した。そこから、児童がスイミーの行動と一致する言葉を探して、学習を進めることができるように工夫した。

言葉集



ペアで問いを立てました。